

PPA事業の現状と課題



2021.11

第二電力株式会社

社名	第二電力株式会社
代表者	代表取締役 会長兼社長 岡本晋
設立	2012年 11月
本社所在地	大阪本社 〒540-0034 大阪府大阪市中央区島町2-1-15 ITビル8F 東京本社 〒141-0022 東京都品川区東五反田5-27-10 野村ビル8F
従業員数	88名（2021年4月現在）

* 2018年11月より長州産業株式会社のグループ企業となる

事業について	事業者向け屋根上の太陽光設備設置（第三者所有モデル）に特化 創業当初は全量売電型を、2019年から自家消費型にシフト ○FITを利用した全量売電型 ○FITを利用した余剰売電型（オンサイトPPA） ○全量自家消費型（オンサイトPPA）
設置実績	全量売電型：1,590件(95MW) オンサイトPPA：130件(26MW) 合計：1,720件（121MW）* 2021年10月1日現在

株式会社FTS 豊田工場・田原工場・広田工場、FTS九州福岡工場の4工場に太陽光発電導入



第二電力は、グローバル燃料系総合システムサプライヤーとして事業を展開する株式会社FTSの豊田工場・田原工場・広田工場、FTS九州の福岡工場の4工場と20年のPPA契約を締結、太陽光発電設備を設置し、発電を開始いたしました。

事業所名	パネル容量 (kW)
株式会社FTS 豊田工場	594
株式会社FTS 田原工場	522
株式会社FTS 広田工場	432
株式会社FTS九州 福岡工場	355
合計	1,903

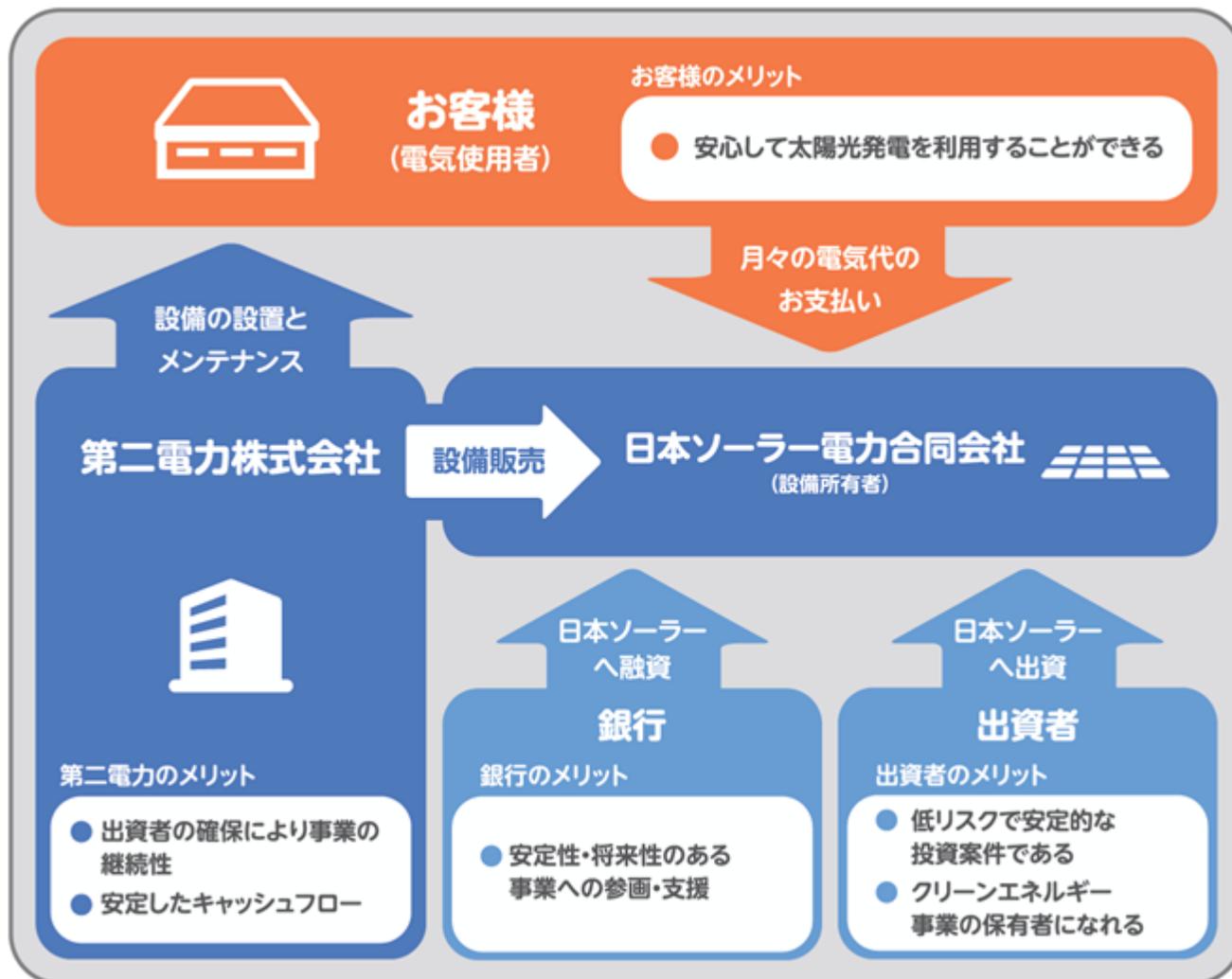
地域新電力会社との連携事業

「亀岡ふるさとエナジー株式会社」との連携事業

亀岡ふるさとエナジーは、京都府亀岡市や亀岡商工会議所及び市内民間企業が中心となって平成30年1月に設立された地域新電力会社で、亀岡市内の公共施設や民間事業者、一般家庭等に電力を供給しています。地域内の資金循環を促進しつつ、京都・亀岡メガソーラーや京都スタジアム発電所等、地域内で発電された太陽光を買い取るなど、脱炭素化に向けた取組みを行っております。

第二電力と亀岡ふるさとエナジーは、市内民間企業の屋根に太陽光パネルを設置し亀岡市内における再生可能エネルギーの利用拡大を促進する「自家消費型太陽光エネルギープロジェクト」を推進しており、この度の保津川あられ本舗の太陽光発電設備は、本プロジェクト初の市内企業による自家消費型発電設備となります。





日本ソーラー電力合同会社は特別目的会社（SPC）で、設備を保有。このSPCに対して財務基盤の強い会社から出資をしてもらうことで、第二電力は制限なく、PPA事業を継続することが可能

これまで10社の合同会社を設立済み。

設置可能な需要家が限定的

制度面

- 自家消費型：電力の使用量が多くかつ、年間平均して電力を使用する需要家
- 余剰型：連系可能なエリアの需要家のみ対象

連系ができず、電力使用量が平均化していないお客様は設置が困難

与信面

- 財務基盤の弱い需要家（本来PPAを利用したい需要家）に設置が出来ない
- 財務基盤の強い需要家は、自社設置を選ぶ傾向

本来PPAを利用したい需要家にサービスを提供できない

PPAの拡大を図るには系統の強化・財務的に弱い需要家への対応策が必要

PPAの認知度

PPAの認知度は徐々に広まっているが、需要家側の不安要素は未だあり

- 期間の長さ
- デメリットがないように聞こえるが本当にそうなのか？
- 試算通りのメリットが本当にでるのかどうか？

PPA普及のためには、社会全般でのPPAに対する認知度の更なる向上が必要